



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年2月3日

上場会社名 ディービーエックス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3079 URL http://www.dvx.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 千葉 茂  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 魚住 洋二 TEL 03-5985-6827  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	22,588	5.9	1,004	△4.2	1,006	△6.2	983	44.2
27年3月期第3四半期	21,335	10.0	1,049	1.4	1,072	3.9	681	9.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	87.19	—
27年3月期第3四半期	60.47	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	13,894	5,704	41.1
27年3月期	12,760	4,978	39.0

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 5,704百万円 27年3月期 4,978百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期（予想）				23.00	23.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注2) 期末配当金の内訳は、以下のとおりであります。

平成27年3月期 普通配当 17円00銭 記念配当 1円00銭

平成28年3月期 普通配当 23円00銭

### 3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,589	10.3	1,530	7.0	1,530	5.0	1,289	40.2	114.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	11,280,000株	27年3月期	11,280,000株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	2,476株	27年3月期	2,476株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	11,277,524株	27年3月期3Q	11,277,524株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、企業の設備投資が持ち直しの動きを見せているものの、個人消費は停滞を続けた状況で推移しており、全体として一進一退の状況となりました。為替水準は、米国が9年半ぶりに政策金利を引き上げましたが、概ね1ドル120円台前半で推移することとなり、前年同期と比較すると1ドル15円程度の円安水準となりました。

医療機器業界におきましては、平成28年4月に実施される診療報酬の改定について盛んな議論が行われ、「地域包括ケアシステムの推進と医療機能の分化・強化、連携」を重点課題とする方向になるとともに、全体として実質1.03%引き下げられることが決定されました。また、平成29年4月に消費税率が再度引き上げられることが予定されていることに関連して、現行制度では医療機関の消費税負担が増大することになることから、今後課税のあり方について総合的に検討されることとなりました。

このような情勢のもと当社では、経営の効率化や販売体制の強化に取り組み、業容の拡大を目指してまいりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は22,588,631千円（前年同期比5.9%増）となりました。営業利益は、円安による輸入商品の仕入価格上昇や、人員増加による人件費の増加により1,004,636千円（前年同期比4.2%減）、経常利益は1,006,692千円（前年同期比6.2%減）となりました。四半期純利益は、保有する株式の一部を売却したことで投資有価証券売却益476,843千円が特別利益に計上されたことにより、983,252千円（前年同期比44.2%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 不整脈事業

既存顧客に対するサービスの充実に努めるとともに、新規顧客の開拓にも注力いたしました。その結果、心臓ペースメーカーや電極カテーテル類等の主力商品の販売数量が増加し、当第3四半期累計期間の売上高は18,537,083千円（前年同期比7.2%増）、セグメント利益は2,546,813千円（前年同期比3.8%増）となりました。

#### ② 虚血事業

輸入総代理店として取り扱っている自動造影剤注入装置「ACIST」やエキシマレーザー血管形成システムの販売が全般的に堅調に推移したものの、円安の影響によりこれら輸入商品の仕入価格が上昇したため、利益率が低下することとなりました。その結果、当第3四半期累計期間の売上高は3,518,931千円（前年同期比7.2%増）、セグメント利益は1,019,319千円（前年同期比3.0%減）となりました。

#### ③ その他

前年同期にあった大型機器の販売が、当第3四半期累計期間にはなかったこと等から、当第3四半期累計期間の売上高は532,616千円（前年同期比29.3%減）、セグメント利益は66,685千円（前年同期比24.7%減）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### （資産）

当第3四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べ1,264,971千円増加し、13,008,373千円となりました。これは主に、投資有価証券の売却等により、現金及び預金が903,889千円増加したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べ131,473千円減少し、886,023千円となりました。これは主に、保有する株式の一部を売却したことで、投資有価証券が240,869千円減少したことによるものであります。

これらの結果、当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比べ1,133,497千円増加し、13,894,396千円となりました。

#### （負債）

当第3四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べ437,165千円増加し、7,871,903千円となりました。これは主に、仕入高の増加に伴って買掛金が547,044千円増加したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末に比べ29,618千円減少し、317,618千円となりました。これは主に、長期借入金が28,510千円減少したことによるものであります。

これらの結果、当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比べ407,546千円増加し、8,189,522千円となりました。

（純資産）

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ725,951千円増加し、5,704,874千円となりました。これは主に、剰余金の配当により202,995千円減少したものの、四半期純利益により983,252千円増加したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は41.1%（前事業年度末は39.0%）となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期累計期間の売上高は、電極カテーテル類や大型機器等の販売が目標に届いていない状況となっておりますが、第4四半期において大型機器の受注が見込まれており、概ね当初の計画を達成できる見通しであります。さらに、メーカーとの連携強化によるインセンティブ獲得や、全社的な経費節減の取り組みにより、利益面でも概ね当初の計画通りになるものと見込んでおります。従って、平成28年3月期通期の業績予想につきましては、平成27年7月31日公表の「平成28年3月期 第1四半期決算短信」における業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,292,872	4,196,761
受取手形及び売掛金	7,246,566	7,395,982
商品	945,788	1,097,718
繰延税金資産	122,000	89,000
その他	137,074	229,810
貸倒引当金	△900	△900
流動資産合計	11,743,401	13,008,373
固定資産		
有形固定資産	414,833	379,410
無形固定資産	48,228	95,359
投資その他の資産		
投資有価証券	368,768	127,899
差入保証金	116,596	185,397
繰延税金資産	58,000	85,000
その他	11,071	12,956
投資その他の資産合計	554,436	411,252
固定資産合計	1,017,497	886,023
資産合計	12,760,899	13,894,396
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,593,794	7,140,838
1年内返済予定の長期借入金	59,116	67,458
未払法人税等	267,300	250,000
賞与引当金	194,720	80,389
売上値引引当金	-	27,192
その他	319,806	306,024
流動負債合計	7,434,738	7,871,903
固定負債		
長期借入金	84,240	55,730
退職給付引当金	168,655	173,047
役員退職慰労引当金	78,431	80,752
その他	15,910	8,089
固定負債合計	347,237	317,618
負債合計	7,781,975	8,189,522
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	344,457	344,457
資本剰余金	314,730	314,730
利益剰余金	4,261,636	5,041,893
自己株式	△547	△547
株主資本合計	4,920,277	5,704,534
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	58,645	4,339
評価・換算差額等合計	58,645	4,339
純資産合計	4,978,923	5,704,874
負債純資産合計	12,760,899	13,894,396

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	21,335,099	22,588,631
売上原価	17,743,235	18,955,813
売上総利益	3,591,864	3,632,818
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	887,937	936,855
賞与引当金繰入額	81,120	80,389
役員退職慰労引当金繰入額	5,637	5,620
退職給付費用	19,896	30,422
その他	1,548,259	1,574,893
販売費及び一般管理費合計	2,542,850	2,628,182
営業利益	1,049,013	1,004,636
営業外収益		
受取保険金	7,176	-
貸倒引当金戻入額	1,400	-
為替差益	-	1,631
デリバティブ評価益	15,716	-
その他	4,190	4,899
営業外収益合計	28,483	6,530
営業外費用		
支払利息	589	477
為替差損	3,958	-
デリバティブ評価損	-	3,995
営業外費用合計	4,548	4,473
経常利益	1,072,948	1,006,692
特別利益		
投資有価証券売却益	-	476,843
特別利益合計	-	476,843
特別損失		
固定資産除却損	1,822	760
事務所移転費用	-	23,290
特別損失合計	1,822	24,051
税引前四半期純利益	1,071,125	1,459,484
法人税、住民税及び事業税	369,351	444,322
法人税等調整額	19,837	31,909
法人税等合計	389,189	476,232
四半期純利益	681,936	983,252

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。